

檜山奨学会館における生活注意事項

共同生活では財団の趣旨をよく理解し、寄宿奨学生相互の立場を尊重し、節度ある行動を心掛け、注意事項を守ってください。

1. 外泊 長期不在（旅行・帰省）は事前に管理人に申し出る。
2. 来訪者
 - 1) 在館生以外の者が来訪する際は、事務室の「外来者名簿」に記入しなければならない。
招待者はこの記入と来訪者が在館中の行動について責任を持つ。
 - 2) 来訪者と面会する場合は、使用上の注意を守って談話室を使うこと。
 - 3) 来訪者を招待する者は、在館生に迷惑をかけないように注意を払う。
特に一度に大人数をよばない。
 - 4) 来訪者の会館での宿泊は禁止する。
 - 5) 異性の個室への立ち入りについては、在館生に誤解を与えないよう充分注意する。
3. 個室
 - 1) 備付家具・電気製品等の保全、室内整理整頓に努めること。
財団が必要と認めた時以外、入居者等が会館の施設並びに設備、備品等を改造したり、自分で何か付け加えたりする事を禁止する。
 - 2) 個室を離れる時、就寝時は戸締まり・火災に気をつける。外出の時はセコムをセット（警戒状態に）する。
 - 3) 個室での喫煙は火災の恐れがあるため禁止する。
 - 4) 備付家具・電気製品以外の電化製品を使用する場合は事前に管理人の許可を得る事。
 - 5) トイレ・浴室の清掃に心掛けること。
トイレトーパー以外の者を流さない（つまって業者の修理が必要）。きれいに使い、使用後は水を流す。
 - 6) 郵便受箱は、玄関に備え付けてあるので各自で管理する。但し書留、配達証明、内容証明等は郵便配達人に配達してもらおう。入居者が不在の場合は、郵便の種類によっては、管理人室で代わりに受け取る場合もある。
 - 7) 火気（電熱器・石油ストーブ等）の使用を禁ずる。会館内に爆発物、引火性物質等火災発生の原因となる危険物を持ち込む事は禁止する。
 - 8) 壁や天井等に釘・ボンド（接着剤）で造作物取付や現状変更をしない。その場合元通りにする費用は本人が全額負担する。
 - 9) 居室の鍵、セコムカード等は入居期間中、入居者が責任を持って管理する事。万一、紛失したり破損した時は速やかに管理人迄届け出

る事とし、紛失や破損したりの実費は各自が負担する事とする。勝手に同型の鍵等を造ったり、他人に貸す事は厳禁する。

- 10) 室内清掃・保全・衛生管理等は各自で行うこと。
- 11) ごみはごみの集収日に指定された場所に指定されたごみの種類に分別して出すこと。
生ゴミはビニール袋に入れて中の物が外に出ないようにすること。
缶、ビンの中身は必ず捨てて出すこと。
- 12) ペットの飼育は禁止する。
- 13) 施設及び備品について点検する必要があるときは、管理人等が入居者の同意を得て部屋に入る事ができる。但し、火災等非常の場合は入居者の同意を得ないで入る事もある。

4. 共用部分

- 1) 談話室(事務室)では飲酒をしない。必要がある場合には事前に管理人を通し館長の許可を受ける。
- 2) 館内での喫煙は禁止する。
- 3) 外部の人を招いた会合や催事を原則として禁じる。必要ある場合は管理人を通し館長の許可を受ける。
- 4) 廊下に私物を置かない。
- 5) ゴミは定められた通りに分別し、各自指定日に指定場所に捨てに行く。カラスによる被害を防ぐためポリ容器からはみ出さないようにすること。
- 6) 洗濯機・乾燥機はその都度使用料を支払うものとする。使用後は自分の物を直ぐに取り出す。
- 7) 自転車は管理人の許可を受けてから購入のこと。自転車置き場は指定された場所に置くこと。
- 8) 入居者の自動車及び自動二輪車の会館敷地内への持ち込みは禁止。
- 9) 各階の外廊下等には、消火器、居室には避難梯子が設置してあるので、あらかじめ各自で場所を確認し取り扱いを覚えておくこと。
- 10) 財団が主催する例会・交流会には積極的に参加すること。

5. 非常事態等

会館内で火災や事故など非常事態があった場合は、速やかに管理人に連絡し応急処置をとるとともに速やかに避難する。

6. 退去 入居時の状態まで入居者の責任で居室の現状復帰を行うこと。
退去に当たっては、財団、大学、入居者の確認を必要とする。

7. 更新 入居者の更新は1回限りである。希望者は「入居期間延長申請書」を大学に提出し、再度「学生寮 Oak Village 入居申込書」の提出と設備サービス費として金 120,000 円を3月末日までに大学に支払うこと

以上